

〔奨励賞〕 圧縮空気品質モニター「AIR-MO」



代表取締役社長
前田 達宏氏

株式会社前田シェルサービス

〒444-3595 愛知県岡崎市池金町字金山76-4

TEL.0564 (48) 2411

<https://www.maedauni.co.jp/>

「AIR-MO(エアモ)」は同社製フィルター「3in1マルチ・ドライフィルター」専用の圧縮空気品質モニター。3in1マルチ・ドライフィルターは工作機械や測定器などに用いる圧縮空気に対し、三つのエレメント(濾過紙)を用いて空気内の水・油・オイルミストを取り除き、清浄度を保つ。

エアモはこの3in1マルチ・ドライフィルターに取り付ける。同フィルターを通過する圧縮空気の清浄度を示す粒子等級が、国際規格「ISO8573-1」、日本産業規格(JIS)「B8392-1」の基準で「2」より悪化した場合に赤色ランプを点灯させ、フィルター交換を促す。

従来はフィルターを利用した期間や、フィルターが通る前後の圧縮空気の空気圧の差からフィルターの汚れ具合を推測し、交換時期の目安としていた。

エアモはフィルター通過後の空気内にある汚れの粒子を常時感知することで、品質管理の正確性が向上。設備に対する保護機能を強化するとともに、フィルターの交換時期の適正化が図れる。

空気中の不純物を計測する一般のパーティクルカウンターが数十万から数百万円するのに対し、エアモの単体売りは10万円(消費税抜き)と安価。

工作機械は高精度化が進むことで、使用する圧縮空気の清浄度への要求も高まっている。3in1マルチ・ドライフィルターとエアモを用いることで、圧縮空気の清浄さを維持しやすくなる。

